

奨励賞（神奈川県立青少年センター館長賞）

定規で描く円

神奈川県立相模原中等教育学校 2年 ^{せ お}瀬尾 ^{あおい}葵

皆さんは定規とペンだけを使ってきれいな円を描くことができるでしょうか。

私が小学生だったときある授業の中で多様性について考える機会がありました。最初の質問もその授業の際に担任の先生にされた質問と同じものです。私のクラスには約40人のクラスメイトがいましたが、定規とペンだけを使ってきれいな円を描くことができた人はとても少なかったです。そんな私たちを見て、担任の先生はこう言いました。

「定規とペンだけで円を描くことはとても難しいですよ。でも、コンパスを使ったらどうでしょうか。すぐにきれいな円が描けてしまいますよね。しかし、定規を使えばきれいな直線がすぐに描けてしまいますが、コンパスではきれいな直線は描きにくいです。」

そして先生はこう続けました。

「人も同じようなものです。〇〇さんと△△さんがいるとします。〇〇さんはバレーボールが好きでバレーボールが得意です。△△さんはダンスを躍ることが好きでダンスが得意です。このことにどちらが良くて、どちらが悪いなどと評価をつけることはできません。どちらも好きなこととして、また得意なこととして素晴らしいのです。」

私はこの先生の話聞いて「自分の好きなものややりたいことが周りの人と違ってても良いのか。」ととても感動したことを中学2年生になった今でもよく覚えています。

というのも、実はこの授業を受ける前まで私は一つ大きな悩みを持っていました。それは、自分が何か行動を起こすと、すぐに「～らしくない」と言われてしまうことでした。例えば、「なんで休み時間に女の子らしく教室で遊ばないの。」だとか「そんな言葉づかいはあなたらしくないからやめなさい。」などの言葉です。私はこのような類の言葉によく傷ついていたことを覚えています。きっとそれは、私は私であるのに「女の子」や「周りの人から見た私」としてのイメージの中で生活しなくてはならないことが窮屈に思えたのでしょう。しかし、この授業を受けた後から、私は自分の行動に対して何か言われたとしても「これが私だから」と自分の行動に自信をつけることができました。

それから何年かたった今、私はすごく大切な友達ができました。その友達は他の人から見たら変わった考え方を

持っている友達で、私はその考え方が大好きでいつも仲良くしています。ですが、その友達は以前から考え方に対する周りの人の反応について悩んでいると、私に相談してきてくれていました。その相談内容を聞いて、私は先ほど述べた授業を受ける前の自分の気持ちが自分の中に渦巻いていくような感覚になっていました。なぜなら、友達がしてくれた相談の内容が、以前の私が悩んでいた内容と同じようなことだったからです。加えて、私はその友達の相談を聞いたときに友達の周りの人に怒りを感じました。どうしてかという、その子は「その子」として一人の人間であるのにも関わらず、自分たちと少し考えが違っただけで「変な考え方」というレッテルを貼ってしまうのは間違っているのではないかと考えたからです。

今考えてみると、私もこれまで人と人とを比べてしまうなどをして失礼な行動や言動をすることがあったかもしれせん。けれども、私は授業を通じて思ったことや、友達の相談を聞いて考えたことなどがあるため、できるだけその人自身を見て接するようにしています。私がこの作文を通してみなさんに伝えたいことは見た目や性別、他の人からの評価によって勝手に貼られたレッテルにとらわれて物事を判断してほしくないということ。それから、一人の人間のことを「その人」として見てほしいということです。「周りの人はこうだからこの人はおかしい。」などと考えるのではなく「この人はこういう考えを持っているのか。自分とは違うけれどおもしろい。」とその人の個性として受け止めてみてほしいのです。このように考えるのは難しいかもしれませんが。しかしながら、「その人自身」を見て人と接する人が増えることによって変な常識に縛られることがなくなり自分も相手も生きやすい世の中を創りあげていくことができるのではないのでしょうか。

最後にもう一度聞きますが、あなたは定規で円を描くことができますか。コンパスでは円をきれいに描くことができますが、だからといって定規で無理に円を描こうとはしないですよ。人も同じように一人の人間として、「個」として「その人自身」として見てみてください。そうすることできっと誰かが救われることを私は願っています。